

角 田 将 士

広島大学大学院教育学研究科助手を経て、2007年度より産業社会学部准教授。博士(教育学)。専門は社会科教育学。特に、わが国の戦前・戦後の歴史カリキュラム・歴史教科書などの分析を通して、歴史教育によるナショナル・アイデンティティ形成論の研究を進めてきています。

1. 専門演習の目標

政治や経済などと同様に「教育」は根底において社会を支えているもの内の一つです。このクラスでは、児童・生徒として身に付けてきている、一般的常識的な教育についての見方・考え方を、学問的なそれへと変革することを通して、現代社会を科学的に認識し、これからの社会のあり様について、主体的に判断していくことのできる力の一端を形成していくことをねらいとします。

2. 専門演習で扱う課題と内容

小・中・高と児童・生徒として学校経験を積んできた私たちは「社会科＝暗記」といった具合に、それぞれの教育観ともいべき見方・考え方を形成してきていますが、そのような常識的な認識は果たして正しいのでしょうか。真理を追究し、よりよい社会を作っていくための手立てを学問的に考えていくところに大学の存在意義があるのだとすれば、社会そのものを主たる研究対象とするこの「産業社会学部」において、社会の根幹をなす「教育」の現状と今後のあり様について、常識を疑い、学問的に考えることはとても大切なことだと考えています。

このクラスでは、上記のような基本的な考えのもとで、現代を生きる子どもたちが身につけておくべき資質（市民性）とはいかなるものか、またそれを育成するための教育のあり様とはいかなるものか、特にこれらの問いについて探求していきます。

3. 授業の進め方・内容

3 回生前期 グループ研究のためのテーマ設定と中間報告

3 回生後期 グループ研究の中間報告と成果報告書の執筆

4 回生前期 卒業研究のテーマ設定と研究計画の確定

4 回生後期 卒業研究の中間報告と卒業研究論文の執筆

4. 必要とする知識

特に必要ありませんが、問題意識（研究課題）に育ていけるような「疑問」や「問い」を日常生活の中で抱けるかどうか研究を進めていく上で大切になってくると思います。

5. 関連する分野・科目・知識

①現代社会をどういう社会としてとらえるか（社会学的視点）。

②そのような社会を生きていく上で求められる資質とは何か、またそれを子どもたちにどう培っていくのか（教育学的視点）。

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

特に指定はしません。研究課題に応じて適宜、指示していきたいと考えています。

7. 独自に付加する選考方法

特になし。

8. 受講生に望むこと

熱意のある誠実な人を求めます。教職をめざす人はもちろんのこと、教育に関心のある人は一緒に研究を深めていきましょう。